

テーマ：大きくなりたいな(身体も心も植物も)

1.2歳児

活動① 『 身体を動かすって楽しいな 』

活動テーマの設定理由

・乳児のみの保育室だが公園に散歩に行くと他園の幼児クラスの子どもたちに出会う。その際、年上の子どもたちがうんていをしたり、タワー遊具の頂上まで登ったりあそんでいる姿に憧れを持って「お兄さんみたいにやりたいから早く大きくなりたい」と口にする姿があったので色々な身体を使ったあそびを取り入れていこうと思った。

活動内容

- ・公園の遊具や園庭で色々な身体の使い方を楽しむ。(登る・渡る・走る・くぐる・ぶら下がる 等)
- ・室内には巧技台カラートネル・一本橋等を用意し身体を使ってあそぶ。(音楽に合わせて踊る・トランポリン・三輪車・コンビカー 等)

用意する物

- ・巧技台 ・スマートゲート ・トランポリン
- ・やわらかゴムマット ・CD(体操) ・ハイハイランド ・フープ

子どもの姿からの気づき

【戸外活動】

- ・ロープの橋を渡ろうと思ったが揺れで怖さを感じる子どもがいた。真ん中でなく、はじを通れば揺れずに渡れることを知った。
- ・歩けるようになった子どもは、はじめ“歩けること”が楽しくひたすら歩行を楽しんでいた。しかし、成長に伴い遊具の興味を示し“トンネルをくぐろうとする”・“すべり台の階段を登ろうとする”など、遊具に興味を持ち始める。
- ・まだ入園したばかりで園生活に慣れなかった児は、公園に行くと他園の子どもたちのあそんでいる姿を見ることで自発的にあそぶ姿があった。



- ・他園の幼児クラスの子どもたちが鬼ごっこをしている姿を見て、自分たちよりも早く走っている姿に気付き憧れる。また、初めてのすべり台だった為保育者が付いて行くと「付いてこないで。お兄さんたちは(大人が)ついてきていない」と口にし、同じようにしたがる姿があった。
- ・幼児クラスの子どもたちがうんていをしているのを見て「動いている」とジッと見ていた。「〇〇くんは？」とその子に聞くと「動いていない、ブーンだけ」と口にし、年上の子どもに、年上の子どもに出来ること自分に出来ないことも分かった様子。
- ・2歳クラスの子どもが背の高い鉄棒にぶら下がっている姿を見て、1歳クラスの子どもが「〇〇君は大きいから、こっちにぶら下がるんだね。すごいね。」と、声を掛ける。(鉄棒は高低の2種類ある)
- ・言葉の発達と共に、その場所に行ったらやりたいことを言葉で表現できるようになり、楽しみに出発できるようになる。(このすべり台がしたいなど)公園であそんでいても「お山の所で走りたい」など、やりたいことが明確になり言葉で伝えてくるようになる。
- ・幼児クラスの子どもがすべり台で腹這いで滑っている姿を見て憧れの気持ちを持ち、どこのすべり台なら出来るか考え滑る姿もあった。長さはあるが、一番スピードの出にくいすべり台であれば可能と自身で判断した。



【室内】

- ・月齢の低い子どもは、はじめのうち室内に動的遊具を出しても興味が薄かった。しかし歩行が安定してくると興味も広がり、巧技台やトンネルをくぐったり、ハイハイランドを登り降りするなど楽しむようになる。(巧技台や動的遊具のまわりにクッションマットを敷いて安全面に配慮する。)
- ・はじめは、ハイハイランドやソフトブロックなど保育者の作った形で満足してあそんでいた子どもが成長とともに“こうしたい”イメージが強まり「こうじゃなくてこうしたい」などイメージを膨らませ伝えてくるようになる。



振り返り(次回のテーマ、どんな環境設定をするか)

- ・アスレチックの遊具の全てを解放すると階段のみを使い大きなすべり台を滑ることができる。しかし、あえて遊具の一部を閉じることで“橋は怖いがすべり台はしたい”と言う気持ちと葛藤しつつ、やがて他児の姿を見て“やってみたい”という気持ちが勝つことで挑戦し出来た喜びを味わえる事を感じた。
- ・カラートンネルだと距離も長く、また色も真っ赤な為かくぐろうとしない姿もあったが、段ボールトンネルを出すと広く、距離も短い為か進んでくる姿があった。特に年齢の低い子どもにとっては広さや距離、色などが大切だと感じた。
- ・子どもの成長や発達により興味が変わってくることを改めて感じた。また、憧れややってみたいと思う気持ちが、子どもの挑戦する気持ちにつながることを感じた。「お兄ちゃんみたいに大きくなりたい」「ごはんをいっぱい食べたら大きくなるの？」の声も聞かれているので、食育活動も併せて行っていきたい。
- ・日常的に幼児クラスの子どもの姿に憧れを真似をする姿が見られた。しかし、ここは乳児園なので公園が幼児クラスの子もたちと接するには良い機会だと思う。そこで、年上の子どもに憧れる気持ちを育んでいきたい。
- ・成長とともに“ここに行きたい”“こうしたい”など自分のしたい事が明確になってきた子どもたち。時には年齢構成の関係で叶えられない事もあり、それを伝えつつも子どもたちの声を聞きこうしたい気持ちに寄り添えるようにしていった。
- ・子どもの声を聞きつつ保育をしていく事の大切さを改めて感じた。また、“こうしたい”の気持ちが散歩の準備の意欲にもつながり、その活動が楽しみと思えるような保育をしていきたいと感じた。
- ・室内でも巧技台を使ったり、体操をしたりするなど、思いっきり身体を動かすことで身も心も落ち着き、その後の生活が安定することを改めて感じた。
- ・あそびを通し、“このすべり台はスピードが出る・出ない”等を実感し、ここなら出来ることに気付いた。誰かに教えられ気付くのではなく体験を通して学ぶという姿を見ることができた。



テーマ： 大きくなりたいな(身体も心も植物も)

1.2歳児

活動② 『 いろんな野菜や植物を育てて触れてみよう 』

活動テーマの設定理由

・①で年上の子どもの姿に憧れを持ち「お兄ちゃんみたいに大きくなりたい。ごはんをいっぱい食べたら大きくなれるかな？」の声が聞かれた。「〇〇を食べると髪の毛が綺麗になるよ」等、伝えることで興味を持つ姿もあるので植物や野菜の栽培、クッキング等の活動を取り入れたいと思った。

活動内容

- ・野菜や植物を育ててみる。(ピーマン・とうもろこし・さつまいも・ひまわり・だいこん・ほうれん草・チューリップ・すいせん)
- ・育った野菜を実際に収穫し、様々な活動に活用する。
- ・様々な野菜に触れ、ちぎってみる。

用意する物

- ・土 ・苗(ピーマン・さつまいも) ・種(とうもろこし・ほうれん草・だいこん)
- ・野菜(レタス・いんげん) ・花苗 ・チューリップ球根
- ・コピー用紙 ・カラーインク ・モール ・こども軍手 ・画用紙 ・養生テープ

子どもの姿からの気づき

- ・育てた野菜を実際に収穫し食事のメニューに出てくることで、身近に感じ進んで口にする姿があった。
- ・成長が遅い(実が大きくなる)事にも気づき不思議そうにする姿があった。また、緑のピーマンが赤などに変化していくのに興味を持ち不思議がる姿もあった。収穫すると「匂いかぎたい」「ちぎりたい」「中を見たい」等、更に興味が湧いた。
- ・毎日生長を楽しみに見ては友だちや保育者、保護者に報告する姿があった。初めは無言でやっていた水あげも「ごはんあげるからもっと大きくなってね」等と、声



を掛けつつ水あげをするようになる。

- ・ピーマンの収穫の際、「大きいの取ろうね」と声を掛けると、じっくり見比べて「これが大きい」と選ぶ。
- ・はじめは保育者に声を掛けられる事でピーマンの成長に気付いていた子どもが後半になると自ら気付き保育者や友だちに報告するようになってくる。自分から興味を持ち生長をみていく姿が日に日に強くなっていった。
- ・カットした野菜をじっくり観察し、“スタンプにするとどんな形になるのか？”を想像する子どももいた。
- ・実際にスタンプにすると、野菜によって形が違うこと、カットの仕方によって形が変わる事に気付き楽しむ姿が見られた。
- ・月齢の高い子どもは使っている調味料や器具にも興味を持つ姿があった。
- ・マッシャーで潰す、ラップで丸める事を皆たのしんでおり、おやつで出てくることを楽しみに待つ姿があった。
- ・緑だった葉が茶色になり、やわらかかった葉がかたくなったのを見て、“何で茶色になってかたくなったのか調べてみたい”という声があがる。



振り返り(次回のテーマ、どんな環境設定をするか)

- ・野菜スタンプあそびを通して、様々な野菜の形や模様を知り、他の野菜の形・模様が気になるなど更に興味が出てきた。そこから食への興味へ繋げていくことができたと思う。
- ・自分で使ったという喜びが食への興味、意欲に繋がったと改めて感じた。「またやりたい」の気持ちを大切にしていきたい。
- ・はじめのうちは、無言で植物に水をあげていた子どもが「またお水をあげるからもっと大きくなってね」と、声を掛けつつ水あげをする姿に変わっていき愛着が出てきているのだと感じた。
- ・日々の水あげや追肥を通して栽培している野菜が身近なものとなり、興味や関心が高まってくるのだと感じた。



活動③ 『 大きくなりたいな 』

活動テーマの設定理由

・子どもたちは植物や野菜を水あげや追肥をすることで大きく育つことを知った。たくさん食べることで自分たちも大きくなることを知った。

活動内容

・室内・戸外共に身体を動かして楽しむ。

子どもの姿からの気づき

- ・寒くても身体を動かすと暖くなる事に気づき、友だち同士で身体を動かす楽しさを知った。
- ・身体を動かすとお腹が空く事に気づきごはんをたくさん食べると大きくなる事を知った。

振り返り(次回のテーマ、どんな環境設定をするか)

- ・室内では巧技台、戸外では遊具や追いかっこを通し、様々な身体の使い方ができるようになることで、身体を動かすことが更に楽しくなることが分かった。
- ・身体を動かすことでお腹も空き、食事にも意欲的になった。また、友だちと会話をしながら食べる楽しさも感じる事ができた。

